

さくら ほっと NEWS

特集

▶ 採血の検査結果が報告されるまで

P.2・3

お仕事拝見!

▶ 超音波検査士

P.2

レシピ紹介

▶ 作ってみよう! ~管理栄養士オススメレシピ~ P.3

切干大根と大豆の和風ドレッシング

お知らせ

▶ 消化器外科と一般外科の統合について

▶ 駐車場・外構の工事が完了しました

P.4

理念

当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します

基本方針

- ・ 大学病院として、高度先進医療を提供します
- ・ 高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します
- ・ 医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・ 名古屋都市圏の中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

名古屋市立大学病院

患者さんの権利等

患者さんの権利

良質の医療を受ける権利
 情報を知る権利
 選択の自由の権利
 自己決定の権利
 機密保持を得る権利

患者さんは、人格や意思が尊重され、質の高い医療を平等かつ安全に受けることができます。
 患者さんは、ご自身の病気や治療について知ることができるとともに、十分でわかりやすい説明を受けることができます。
 患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身で選択し変更することができます。また、他の医師の意見を求めることもできます。
 患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身の意思に基づいて決定することができます。
 患者さんのプライバシーは十分に尊重されるとともに、個人情報には厳正に保護されます。

患者さんへお願い

- 病院の規則や治療上必要な指示・助言を守って療養してください。
- ご自身の健康状態について、できるだけ正確に伝えてください。
- 説明を受けても十分に理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- 他の患者さんの権利を尊重し、暴言・暴力等の医療の妨げとなるような行為は行わないでください。
- 大学病院として医療スタッフを育成するため教育実習を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

vol.9
2009年5月



採血の検査結果が報告されるまで

患者さんから採取された血液、尿、便、喀痰、体腔液など（これらを「検体」といいます）を検査するのは、中央臨床検査部の検体検査係という部門が担当しています。検査部では、臨床検査技師が自動分析装置やマニュアル手法（化学の実験のように検体と試薬を反応させます）を駆使しながら検査を行い、病気の診断や治療の補助となる検査結果を報告しています。

今回は、中央採血室で採血した検体がどのように検査されて報告されるかをご紹介します。

1 中央採血室で採血する

医師が電子カルテから検査を依頼（オーダー）すると、検査部門に依頼内容の情報が送られ、採血管を自動的に準備します。

看護師および臨床検査技師は、患者さんに氏名を名乗ってもらい本人確認した後、指示書で採血の内容が正しいかをチェックして採血を行います。採血時には、神経を傷ついたり、内出血がないように、安全性に細心の注意を払っています。

採血が正しくできないと正しい検査結果が得られません。



2 検体を搬送する

採血された検体は、リニア搬送という輸送装置を使って、中央採血室のある2階から中央臨床検査部のある3階へと迅速に送られます。



リニア搬送



検体検査室

お仕事拝見！



超音波検査（エコー検査）ってどんな検査？

超音波とは、人の耳では聞くことのできない2万ヘルツ以上の高い音のことを言います。イルカやコウモリは、超音波を発信して反射してきた音により障害物などを認識しています。

超音波検査は、超音波を体に当てて、体の中の臓器から反射してきた音を映像化し診断を行います。この検査は、無痛で安全な検査なので繰り返し検査をすることが可能です。

超音波検査士ってどんな資格？

超音波検査士は日本超音波医学会が認定する資格で、日夜進歩する超音波技術を活用し検査技術を磨き、医療に貢献していく技師を育む事を目標にしたものです。循環器、消化器など6分野に分かれており、臨床検査技師をはじめとする医療従事者で学会在籍、臨床経験、専門知識など一定の基準を満たした者が認定されます。

名古屋市立大学病院では…

当院検査部では現在2名の超音波検査士を中心に臨床検査技師6名で心臓、腹部、頸動脈の超音波検査を行っています。平成16年から電子カルテが導入され、医師が診察室や病棟などで超音波の画像を動画や静止画で参照できるようになり、患者さんの診察、治療に役立っています。

今後も若手検査技師、熟練検査技師、超音波検査士とのチェック体制と医師確認のもと検査技術の向上、研鑽に努め精度の高い診断の一助となる様に努めていきたいと考えています。【中央臨床検査部 生理機能検査係 堀口】

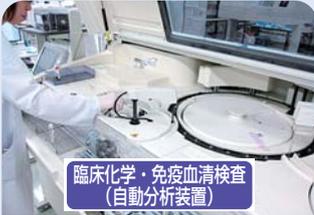


超音波検査(練習)風景
(実際の検査は部屋を暗くして行います)

3

検査を行う

検査部に到着した検体は、検査の内容別に分類されて検査が行われます。検査室は研究所のようなところで、たくさんの分析装置が稼働しています。主な検査として、次のようなものがあります。



臨床化学・免疫血清検査
(自動分析装置)



臨床化学・免疫血清検査
(マニュアル手法)

a 臨床化学検査

血液中の成分(酵素、脂肪、糖など)を測定して、肝臓や腎臓といった臓器の機能、障害の程度、体の調節機構、栄養状態を把握します。

b 免疫血清検査

ウイルス肝炎などの感染症、ホルモン、腫瘍マーカーを検査します。



血液検査

c 血液検査

赤血球や白血球、血小板の数を計測して、貧血や炎症、出血のしやすさをチェックします。さらに白血球の形(形態)を顕微鏡で観察することで、血液の病気の診断に役立ちます。



血液凝固検査

d 血液凝固検査

血液が凝固する(出血が止まる)機能を調べます。血栓症や血友病の治療効果の判定に有用です。

4

検査結果を報告する

分析により得られた検査結果は、解析処理をして間違いのない値であることを検証した上で、コンピュータシステムにより迅速に報告します。

医師は報告された結果を診療科、病棟の電子カルテ端末から参照することができます。検査結果は、必要に応じて印刷してお渡しすることができます。



検体検査室



診療科・病棟

検体検査は、患者さんが直接目にする機会のない部門ですが、より質の高い医療が提供できるよう日々、検査精度の向上、有用な新しい検査の導入、迅速な検査の実施に取り組んでいます。

【中央臨床検査部 検体検査係 五藤】

作ってみよう!

~管理栄養士
オススメレシピ~

切干大根は煮物!?
サラダ感覚で食べて
みませんか?



レシピ紹介

これから暑くなってきます。夏バテで食欲がないときでも冷蔵庫で冷たくして食べると食が進みます。大豆、切干大根、わかめ、いりごまでカルシウムもいっぱいです。野菜もたくさん入っているので、食物繊維も豊富です。

切干大根と大豆の和風ドレッシング(2人分)

材料名	使用量	作り方	栄養価(1人分)
切干大根	15g	① 切干大根は水に戻し、食べやすい大きさに切り、さっとゆでる。 ② ゆで大豆は熱湯にさっとおす。 ③ にんじんはせん切りにしてゆでる。きゅうりはせん切りにして、塩を少々ふって軽くもみ、水洗いする。 ④ 生わかめは、洗って食べやすい大きさに切る。 ⑤ 調味料は合わせておく。 ⑥ 材料と調味料といりごまを合わせる。	エネルギー 85kcal
ゆで大豆	25g		たんぱく質 3.2g
にんじん	25g		脂質 2.9g
きゅうり	40g		炭水化物 11.8g
生わかめ	15g		カリウム 434mg
いりごま	小さじ1		カルシウム 80mg
ごま油	小さじ1/2	食物繊維 3.2g	
砂糖	小さじ2	食塩相当量 0.7g	
しょうゆ	小さじ1強		
酢	小さじ1強		

ゆで大豆は、ドライパック缶を使うと便利でおいしいです。ドレッシングは市販品でも、ポン酢でもお好みでどうぞ。ちりめんじゃこや小松菜などの青菜、しそ葉やみょうが、しょうがなどお好みの香りを加えてもいいですね。

【医事課 栄養管理係】

消化器外科と一般外科の統合について

平成21年4月より、外科の統合に伴い、これまでの「消化器外科」、「一般外科」が一体となって、新たに「消化器・一般外科」としてスタートしました。これは消化器外科、一般外科で共通する診療内容が多くあることから、それぞれの知識や技術、方法などお互いの技能を活かしながら、より質の高い医療を提供するものであり、患者さんにとっては今まで以上に分かりやすく、最適の医療が提供できるものと思っております。また、外科が統合され、後期研修（卒後3年目以降の外科専門医研修）が行いやすくなったことにより、多くの若い外科志望医師の皆さんが私どもの仲間に参加してくれることを期待しております。

スタッフ一同、患者さんの安心・安全・笑顔を目標に精一杯治療に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

詳しい診療担当医は当院ホームページでご確認ください。【消化器・一般外科部長 竹山 廣光】

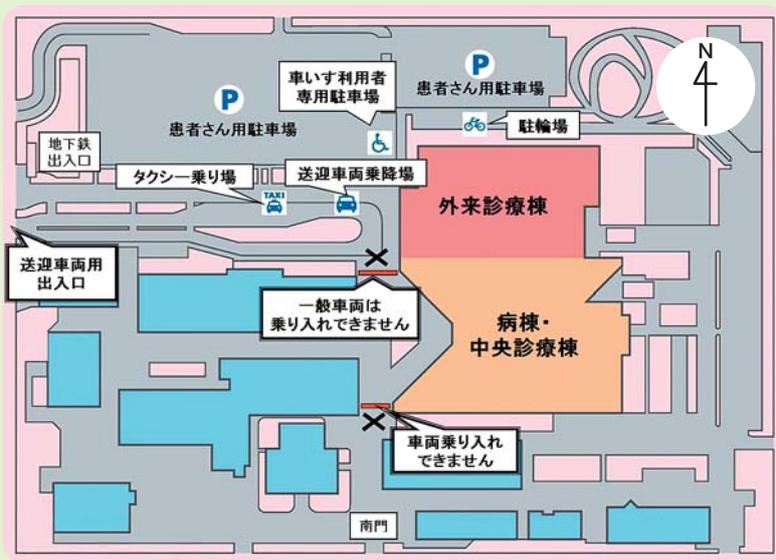
駐車場・外構の工事が完了しました

平成20年4月から行ってまいりました一般駐車場及び外構の整備工事が、平成21年3月に竣工しました。平成11年から続いてまいりました病院改築に関する関連の一連の工事も、既に開院した病棟・中央診療棟、外来診療棟の改築を経て、今回の駐車場及び外構の整備工事で完了します。工事に際しましてはご来院の方々や近隣の皆さんをはじめ、大変ご迷惑をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。

今回の駐車場整備により、3年前は260台だった駐車台数が350台に増えるとともに、ゆとりを持って駐車できるよう1台あたりの駐車場幅が広くなりました。また、350台のうち、車いす利用者専用の駐車スペースを6台設け、後部部分をひさしで覆うことにより雨天時の車いすの出し入れに配慮しました。

さらに、救急車などの緊急車両を含むあらゆる車両の乗り入れを西門に一本化し、タクシー乗り場や送迎車両の乗り降りに使用していただけるよう、外来診療棟正面前にロータリーを設けました。

駐車場の整備に併せて、地下鉄桜山駅出入口から病院玄関まで屋根付の歩道を整備するとともに、ご来院の皆さんに楽しんでもらえるようその周りを緑地帯で囲み、多くのベンチを配置しました。さらに、外来診療棟の北東部分にも芝生で覆われた広場を設け、そこにヤマザクラなどの木々を植えています。今後、患者さんをはじめとする皆様にとって新たな病院の憩いの場になればと思っています。



名市大病院

検索

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>

ホームページの検索方法の案内『名市大病院』で検索

クリック



このQRコードをケータイで読みとると簡単にホームページが見られます。